

# 静岡病院ニュース

順天堂大学<sup>医学部</sup>附属<sup>静岡病院</sup>

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 52  
2012年10月17日



(田方平野からの富士山)

## 医療サービス支援センター開設にあたって



医療サービス  
支援センター長

大熊 泰之

4月より医療サービス支援センター長に就任いたしました。このセンターは、患者さんがスムーズに診療を受けられるように、地域諸機関との連携を図ること、医師や看護師、薬剤師、社会福祉士など医療スタッフの綿密な連携の下に安心できる医療を提供することを基本方針として開設されました。

実はこれまでも、医療連携室、医療福祉相談室、患者相談室という個別の組織で患者さんの支援をさせていただいておりましたが、このたびはストラン棟の1階にまとまったスペースをいただき、多職種間の連携をより緊密にして患者さん、ご家族のサポートをさせていただくことになりました。

医療連携室としては、文字通り他の医療機関と連携し、患者さんに円滑に診療を受けていただけるよう努めています。医療福祉相談室は、専門的な知識を持った社会福祉士が中心となり、医療・福祉制度のご説明や、退院後の転院や在宅医療に向けての支援を行っています。患者相談室では、それとあわせて相談にのり、また専門看護師を中心に退院の支援を行っています。さらに総合受付を設置し、初めて来院された患者さんでも戸惑うことがないよう配慮しております。通常の診療時間内であればいつでもご相談にのりますので、気軽にお声をかけていただければ幸いです。

# 糖尿病・異所性脂肪 メタボリックシンドローム

糖尿病・内分泌内科 准教授

佐藤 文彦

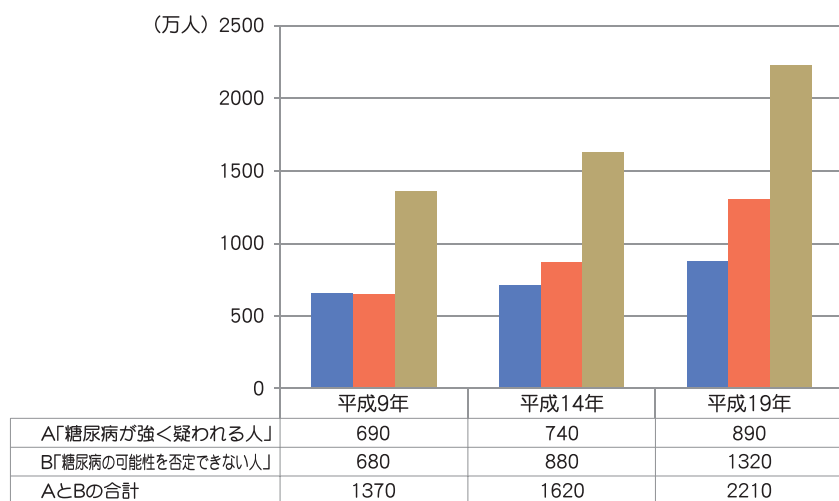
## ●急増する糖尿病患者数

近年、食事の欧米化や交通機関の発達による身体活動の低下のため、我が国での2型糖尿病の患者数は約900万人程度まで急速に増加している」と推計されています(図1)。

さらに現在、世界の中でも糖尿病患者数が多い国は中国(約9000万人)、2位がインド(約6000万人)と推計され、今や世界の糖尿病患者の半数近くがアジア人と考えられているほど、とてつもないスピードで糖尿病の方が増加しています。

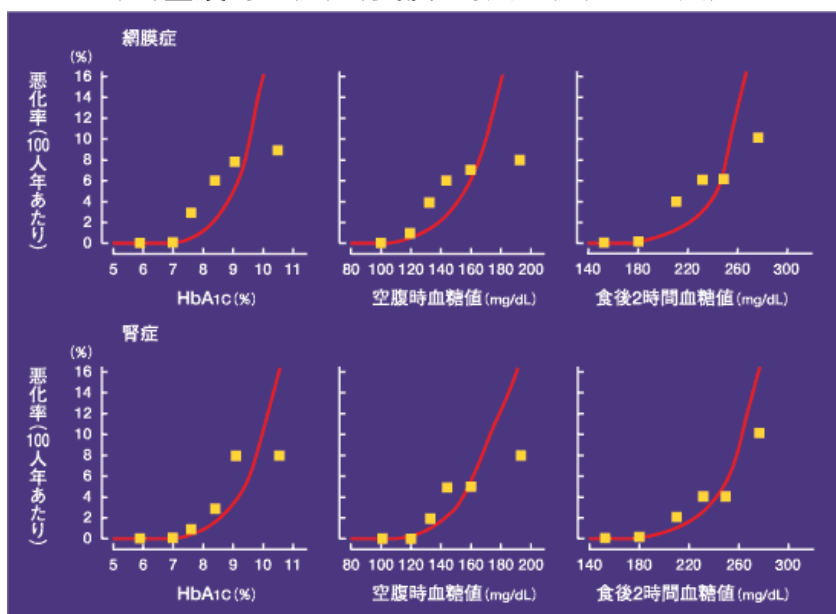
(図1)

■A「糖尿病が強く疑われる人」 ■B「糖尿病の可能性を否定できない人」 ■AとBの合計



厚生労働省 平成19年国民健康・栄養調査結果の概要について

(図2) 糖尿病網膜症、糖尿病性腎症の悪化率とHbA1C値、空腹時血糖値、食後2時間血糖値との関連



Ohkubo Y. et al.:Diabetes Res Clin Pract.1955;28:103-117

## ●糖尿病・メタボリックシンドロームと合併症

糖尿病は、特に初期の段階では、自覚症状がほとんどありません。このため、普段の仕事や生活にさしたる影響もなく、自分が糖尿病だという現状を受け入

れにくい方もおられるかもしれませんが、しかし、血糖値・HbA1c値は、高値が持続すればするほど、糖尿病の3大合併症(糖尿病網膜症、糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害)の発症・進展する可能性は明らかに高まります(図2)。

また、メタボリックシンドロームの要素も加わると、同世代の方に比べ若い年齢で、脳梗塞・心筋梗塞といった大血管合併症も併発するリスクも高まります。これらの疾患の予防や進展抑制を行うっていくことは、自分のため、そして家族のためにも、非常に大切なことだと言えます。

●**まずは5〜10%の減量から始めましょう**

日本人を含めた黄色人種は、欧米諸国の白人・黒人に比べ、少しお腹周りが太っただけでも、糖尿病や動脈硬化が発症しやすい体質があるといえます。

このため、少しでも体重が増えてしまったなら、早期に減量して、体重を戻しておくことが大切です。

本来摂取したエネルギーは、余剰分があれば脂肪組織に蓄えられます。しかし、さらに食べ過ぎてしまうと、本来溜まらないはずの、肝臓や骨格筋の細胞内に脂質が過剰蓄積してしまいま

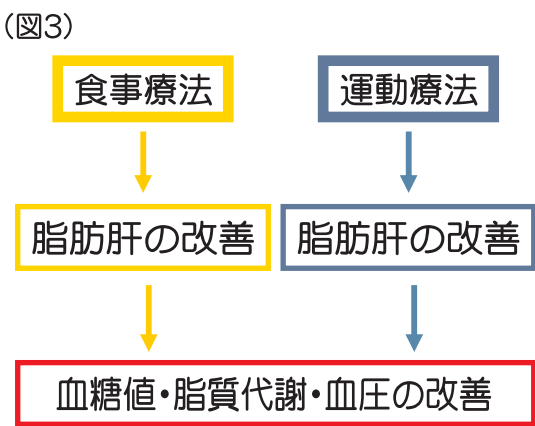
す。これを、我々は「脂肪肝・脂肪筋」とか「異所性脂肪」と定義し、臨床研究を行ってきました。実際に2型糖尿病患者さんが2週間程度入院されると、2〜3%程度の体重が減少し、これに伴い血糖値や中性脂肪値も改善されます。この理由として、食事療法により、肝臓内の脂質(脂肪肝)が顕著に減少し、また、運動療法により、骨格筋の細胞内脂肪(脂肪筋)が有意に改善することがわかっています(図3)

(Tanura, et al. J Clin Endocrinol Metab, 2005)。

また、糖尿病ではない肥満症の方でも、1日の食事摂取カロリーを減らし、5〜10%程度の体重減少を行うだけでも、脂肪肝は著明に改善し、中性脂肪値や血圧が正常化していくことがわかりました (Sato F. et al. J Clin Endocrinol Metab, 2007)。

この様に、薬物療法を使用または追加しなくても、食事・運動療法をしっかりと基本通り行っていけば、「異所性脂肪」が改善

し、意外なほど確実に効果が出る方も多数認めます。



●**薬物治療は、インスリンから経口薬の順で**

内服薬でコントロールの悪い糖尿病患者さんに対しては、できる限り早めのインスリン治療開始を勧めています。インスリン治療と、食事・運動療法で、しっかりと血糖値と体重を管理した後、インスリン治療を「卒業」していただき、その後、体重の増加しにくい経口薬に変更していくことが、最もご自身の体にとって負

担のかからない治療です。この治療法により、特に脾臓や心血管系への負担が軽減されると考えられます。ただ、ご自身の脾臓から、インスリンの分泌が充分にできない方や、やせ形の糖尿病の方は、インスリンの継続治療が必要な場合が多いのも事実です。

近年、体重を増やさずに血糖値を改善してくれる新薬も、年々登場してきています。当院におきましては、この様な新しい治療法も取り入れながら、伊豆半島周辺地域の糖尿病治療に貢献できるよう心がけていきたいと考えております。

11月14日は世界糖尿病デー



# フットケア外来での 看護師の役割について

皮膚・排泄ケア認定看護師 杉村 幸

当院フットケア外来では、現在キズができてしまった方を対象にした治療的フットケアを行っています。1名30分程度の診療となっており、患者様の困っているキズのケアが十分に行えるよう調整を行うことが主な役割です。

初回はキズのケアや治療方針決定のために必要な検査に時間がかかります。そのため、治療や検査の介助を行い、スムーズに診療が行えるよう介助しています。以後、ケアのために継続して受診される患者様には、自宅でのケア方法を確認するなど、自宅でのケアをサポートしております。

下肢潰瘍は、発症してしまうと治癒しにくいことが多いため予防的フットケアが重要です。現在ではフットケア外来中の予防的ケアの対応は困難であるため、循環器医師の依頼により、臨時で予防的ケアを行っております。現在は、臨時対応であるため今後は継続的ケアが行えるよう活動していくことが課題です。

## 職 員 紹 介



放射線科  
松波 環

東北の大地震が起きてから1年半以上も経ち、福島原発問題により「放射線」は大きな注目を浴びています。放射線と言われると「原爆」とか「チェルノブイリ」といった負のイメージを持ってしまいがちなのですが、実際はCTにより画像診断は飛躍的に進歩し、また放射線治療は現在の医療には欠かせないものとなっています。

### ●当院における放射線科業務

この順天堂静岡病院は3次救急病院であり、ドクターヘリの運用も活発な24時間「眠らない病院」です。病院の性質上、外傷患者の救急搬送が非常に多く、特に骨盤骨折や内臓破裂などの出血に対するカテーテルでの止血を我々、放射線科が担当しています。日常ではCT、MRI、核医学など各種の施行、読影が主業務であり、特に近年注目されているPET-CTは積極的に施行されています。また、放射線治療も毎日数多く行われております。

## お知らせ

### 患者さまをご紹介頂く先生方へ

当院では、効率的な診療を受けていただくために、専用の診療情報提供書をご用意しております。専用の診療情報提供書をご希望の場合は、電話またはFAXにて下記へご請求下さい。

請求先：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター医療連携室  
電話：055-948-3111(内線)3550  
フリーダイヤル：0120-78-9914 FAX：055-946-0858